

第 1 学 年 国 語 科 学 習 指 導 案

題 材	◎ 漢字⑥ 漢字の成り立ちと意味 (光村図書)
目 標	<p>(1) 漢字の成り立ちについて関心をもつ。 【関心・意欲・態度】</p> <p>(2) 漢字の成り立ちについて知り、四種に分類できるようになる。 【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>(3) 正しい情報を、相手にわかりやすく伝えることができる。 【話すこと・聞くこと】</p>
指導計画	<p>全2時間扱い</p> <p>第1時 漢字を、その成り立ちによって四種に分類する。…………… 1時間 (本時)</p> <p>第2時 漢和辞典を引きながら、練習問題の漢字について、成り立ちや意味、読み方を確認する。…………… 1時間</p>
指 導 上 の 立 場	<p>(1) 題材について 本題材は、1学年の漢字学習の総まとめとして位置づけられている。これまで、「漢字の組み立てと部首」では漢字の形について学び、「漢字の音訓」では漢字の音読み・訓読みについて学んできている。本題材では漢字の成り立ちと意味を学び、1学年の漢字学習のまとめとしたい。またそれだけではなく、漢字への興味・関心を引き出し、今後の漢字学習への意欲をもてるような内容にもしていきたい。</p> <p>(2) 生徒や学級の実態</p> <p style="text-align: center;">削除しています。</p> <p>(3) 本題材で工夫する点や手だて 本学級には、活発な生徒も多いが、言葉にして説明することが苦手な生徒や、発言・発表ができていない生徒も見られる。そこで、班別学習を取り入れることで、個々の発言が必要になり、自分の意見をそれぞれが考えなければならない状況を作り出すことができる。また、なかなか漢字が覚えられない生徒や、「覚えなければいけない」という義務感を強く感じている生徒もいるが、まず、漢字のもつさまざまな意味や、成り立ちの面白さ・奥深さを知らせたい。そして、クイズ形式や班発表で学習しながら、生徒の興味・関心を引き出せるような時間にしたいと考えている。</p> <p>(4) 研究主題との関連 本校では「基礎学力の定着」を研究主題としている。 第1時では漢字の成り立ちについて学ぶが、ただ機械的に辞書を引くのではなく、個人あるいはグループで、課題についてまず予想を立ててから調べる、という力を養いたい。 第2時では練習問題に取り組み、指名発表をおこなう。ここでは、漢和辞典を活用する力と、わかりやすい説明で相手に伝える力、そして正しい知識を身につけさせたい。 漢字の知識はすべての学習の基礎学力であると考えている。漢字学習への意欲や漢字への興味をもたせることで、国語に限らず、今後のあらゆる学習につなげていきたい。</p>

本 時 案 （ 第 1 時 ）

目 標	<input type="checkbox"/> 漢字の成り立ちに興味をもち、考えようとする。 <input type="checkbox"/> 漢字を成り立ちによって四種に分類できるようになる。	【関心・意欲・態度】 【言語についての知識・理解・技能】
-----	---	---------------------------------

学 習 活 動	教 師 の 支 援 及 び 指 導 上 の 留 意 点
---------	-----------------------------

1 本時の目標を確認する。	<input type="checkbox"/> 単元名と目標を板書し、本時の内容と目標を視覚的に示す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <input type="checkbox"/> 漢字の成り立ちについて考えよう。 <input type="checkbox"/> 班で協力して、漢字を四つのグループに分類しよう。 </div>
2 漢字クイズをする。 (1) 漢字の元になった形を見て、今の漢字・読み方を考え、ワークシートに記入する。 (2) 自分の考えを発表する。 (3) 動画やカードを見て、正解と、漢字が今の形になるまでに、どのような変化をしてきたか知る。	<input type="checkbox"/> 漢字の元になった形を見せ、今ではどのような漢字になっているかを考えさせる。 <input type="checkbox"/> 読み方については、音読みはカタカナで、訓読みはひらがなで記入するよう指導する。 <input type="checkbox"/> 同じ生徒ばかりでなく、手を挙げていない生徒も指名するなど、発表の機会に留意したい。 <input type="checkbox"/> 漢字の元になった形が、今の漢字に変化していく動画をパソコンで提示する。 <input type="checkbox"/> 漢字は表意文字であり、それぞれの字が、それぞれの成り立ちと意味をもっていることを確認させる。
3 漢字を四種に分類する。 (1) 教科書を読み、四つの分類を理解する。 (2) 各班に割り当てられた漢字について、成り立ちを考え、四種に分類する。また、その理由も考える。(個人活動)	<input type="checkbox"/> 教科書を使用し、象形・指事・会意・形声の四つの分類について説明する。 <input type="checkbox"/> 各班に二つずつ漢字を割り当て、各自で分類をさせる。 <input type="checkbox"/> なぜそのように分けたのか、理由も考えて書くよう指示する。
(3) 班の中で意見を交換する。(班活動)	<input type="checkbox"/> 全員が意見を言えるよう、活動前に指示を出しておく。 <input type="checkbox"/> 自分と違う意見は、別の欄に書き込むよう指示しておく。 <input type="checkbox"/> 班発表者には、まだ経験のない人を優先するよう助言する。
(4) 班ごとの考えを発表する。他の班の考えは、ワークシートにメモを取る。	<input type="checkbox"/> 他の班の考えもワークシートにメモしておくよう指示する。 <input type="checkbox"/> 発表のパターンを提示する。ただし、【 】内には、教科書の説明部分のパターンを使わせる。
(5) 漢和辞典の拡大画像を見て、成り立ちを確認する。	<input type="checkbox"/> 該当漢字の、成り立ちの説明部分を拡大して示す。 <input type="checkbox"/> 辞書によって、解釈が分かれる場合があることを伝える。
4 本時のまとめをする。	<input type="checkbox"/> 本時の内容をふりかえり、自己評価をさせる。

★ 評価C（言語に関する知識・理解・技能）の生徒に対する手だて

- 教科書のチェックや、ワークシートへの記入を促す。
- 分類の方法や分類の名称について質問し、教科書を参考にしながら答えさせる。
- 担当している漢字が、「物の形か」「何かを指し示しているものか」「二つの部分に分けられるか」「二つの部分に分けたものは、音訓に関係しているか」といった、考え方のヒントを与える。

<発表パターン・象形文字の場合の例>
 この漢字は【○○の形を象っている】と思うので、象形文字です。

準 備 参 考 資 料	・パソコン ・テレビ（スクリーン） ・ワークシート ・キッチンタイマー ・漢和辞典 『白川静さんに学ぶ 漢字は楽しい』 小山鉄郎 （共同通信社）
-------------	---

評価の観点	評 価 の 基 準		具体的方法
	A基準	B基準	
・関心・意欲・態度 ・言語についての知識・理解・技能	・ワークシートに自分の考えが書けており、積極的に活動できている。 ・根拠をもって、正確に分類することができる。	・ワークシートに自分の考えが書けている。 ・分類をすることができる。	・ワークシート ・観察 ・ワークシート